



Upside Japan
THE TECH INSIDER www.upsidejapan.com

！ホーム！UPSIDEについて！UpsideToday米国版！

！コラム！ビジネスモデル！注目の企業！キーパーソン！業界動向！アジア最新ニュース！ITな暮らし！



Upside Japan / コラム



アメリカの一人負け 中村伊知哉@LANTIC【第6回】

1999年3月24日

結局出た、赤いliMac

注目記事

- ・MSNが音楽配信サービスに参入!
- ・ネットのコンテンツで金は取れるのか?
- ・マイクロソフトがトランスメタと提携!
- ・iモードがアメリカにやってくる!
- ・ハイテク株よ、底の底まで落ちてくれ
- ・略語の山に埋もれたB2Bマーケット



デジタル用語辞典:

検索



困るでアップルそれは、いやね、最初iMacが出た時にね、どうすんのかって友達から聞かれるたびに、買わへんって答えてたんです。おカネがなかったんやけど、それじゃシャレにならんから、**あんな青い色**ボクの部屋にあわへん、コンピューター作る人ゆうのは使う人がどんな状況でどんな具合に使おうと思てるか考えてくれてへん、ボクはいつかコンピューターと肉體関係になりたいと思ってたのに、コンピューターいうやつはボクを指図したりスネたり泣いたりするばかりで勝手なやっちゃで、ほんで改心して出直すんかと思たらあの青やんか、ボクの部屋ページと茶色やさかい、せめて**赤かオレンジ**が出たら買うたるわ。って言ってたんです。

なんちゅうこっちゃ。赤もオレンジも出しよった。友達みんな、買うんか買うんかって聞きよんねん。こっちは引越したばかりで、クルマも買わなあかんし、おカネあらへん。でもメンツちゅうもんがある。根性で買うたる。赤、買うたるわい。ホンマ根性はキライや。

あんな青い色：ボンダイブルーのこと。iMacをデザインしたJonathan Ive氏は、その功績からいまやデザイン担当副社長に昇格したというアメリカンドリームな人。アップルに入る前は、日本製テレビのデザイナーなんかもしていたらしい。

赤かオレンジ：赤はストロベリー、オレンジはタンジェリン(温州みかんに似たオレンジ)のこと。ほかに3色あるが、ブルーベリーをボンダイブルーを混同している人はけっこう多い。

店では売りきれ、ネットなら即納

ということで、**チャールズ川**ぞいのパソコンショップにとぼとぼ行った。チャールズ川はすっかり凍っている。歩いて渡れる。渡れる世間は寒いぞ鬼ばかり。シベリアのようだ。シベリア行ったことないから知らないけど、そんなことはどうでもよらしい。

赤! 1個くれい!! するとパソコンショップの兄さん、赤いliMacまだ入荷してないと言う。よっしゃ、エライぞアメリカ人それでええ。いやー買いに行ったらんやけど、わはははははは、売ってないから買えへんかったわ。すると友達、オンラインで買えるで、やて。あかん、ほんまや、クリック一発、一瞬で買えた。すぐ送って来よった。困るでそれは。

チャールズ川: MITの脇を流れ、大西洋に注ぎ込む、ボストンっ子憩いの場所。わりと近くにCompUSAのMIT前通り店があるが、中村氏はそこに行ったのだろうか?

日本人の電話対応は世界レベルだ

いや訂正、アメリカ人、おまえらエライ。まっこと便利。脱帽じゃ。この電子商売人! 機械文明、万歳じゃわい。そういや訂正と言えは、ちょっと聞いて。引越した理由のCATV、イーサネットも提供ってヤツ、実はまだ来ないんです。

いや人が来るには何度も来てるんだが、その会社、テレビとインターネットと電話(もやってくる)とで部署が別々でね、受付もバラバラでね、そいつらが配線いじるときに別の工事会社も呼ばなきゃなんないし、見通し立たないまま。英語できないボクも悪いが、なんど電話してもラチがあかないのはまっこと不便。

こんなこと日本でやってたら会社つぶれまっせ。フランスで**ミニテル**が普及したのは、フランス人の電話の対応が悪いからで、日本で**キャプテン**が普及しなかったのは、日本人の電話の対応がいいからだ。高度な対応という文化は大変な資産で、技術なんていう文明はそれに比べりゃぜ二で買える。これあんまり言うと、おまえらバカだ、って論理につながりかねないか

ら言葉を濁す。おまえらエライもんな。ようわからんわ、おまえらのことは。

ミニテル: フランステレコムが開発した、電話回線に接続する端末装置。表示できるのはテキストと簡単なモノクロ画像のみだが、パソコン通信の真似事くらいはできる。アダルトコンテンツも用意されているところがフランスらしい。料金は従量制だが、図書館や郵便局に置いてあるミニテルは無料で利用できる。

キャプテン: “Character And Pattern Telephone Access Information Network system”の略。かなりムリが感じられるネーミングだが、製品コンセプトもムリなものだったのだろう。

インターネットはアメリカの弱点だった!?

電子商取引の政策をどうするかで米欧がガタガタしてます。かつてオーディオビジュアルの貿易をめぐって、産業か文化かという両者の対立がありましたけど、それとよく似た構図。斜陽といえど、ユーロでつながる世界最大の国家となった**ヨーロッパ**は、勝者アメリカに立ち向かう。特に暗号問題は、金融と軍事が絡むから、これからもホットな調整が続く。

ただ、アメリカもヨーロッパも、まあ日本も含めて、身内ですからね、殺し合いにはならない。それより、いまはアメリカの一人勝ちだってみんな嫉妬してるけど、それがいつまで続くのかの方がボクには興味がある。

だってアメリカが勝っているのは技術と産業だけだから。でも経済はアジアの方が伸びてるし、軍事や政治力を含めると、21世紀は非欧米の陣営が強くなっていくのは必至。彼らは文化・宗教のアイデンティティーが違うから、つまりOSが違うから、身内にならないよね。

そこでインターネット。彼らはこれで先端技術を吸収して、産業面で追い付いてくる。そして、儒教、イスラム、ヒンズーの価値観を、欧米人の何倍もの人口で発信してくる。アメリカがインターネットを世界に普及させるのは、自分の首を絞める博愛精神なのかもしれない。いや、たぶんアメリカは気づいてないだけなんだろうな。基本的に傲慢だもん。

日本は経済がしんどくなって、ハッと気がついた。戦後、和魂洋才を捨てて、洋魂洋才で来たのに、洋才でコケて、アイデンティティーがなくなった。さあどうする。企業はみなグローバル戦略を再構築して、合衝連衝している。東欧諸国もアジアもアフリカもそうだ。ずっとずっと先だけど、気がついたらアメリカの一人負けてこともあり得るよ。

日本は、キミは、ボクは、どうする。

ヨーロッパ: 日本が1億2500万人、アメリカが2億6000万人なのに対し、欧州連合(EU)の人口は3億7000万人。大まかに言って1:2:3となっている。ただしGDPで比べてみると、それぞれ5兆1000億ドル、6兆9000億ドル、7兆3000億ドルとなり、人口ほどの差はない(出展: 外交青書1997)。

中村伊知哉 プロフィール



マサチューセッツ工科大学 客員教授
'61年生、京都市出身。京都大学経済学部卒。

在学中はロックバンド“少年ナイフ”のディレクターで活躍。
'84年、郵政省入省。'93年からパリに駐在し、'95年に帰国後は郵政大臣官房総務課課長補佐を務める。'98年、郵政省を退官し、(株)CSK特別顧問に就任。同年、マサチューセッツ工科大学 客員教授に就任。

著書に『インターネット,自由を我等に』(アスキー出版局)などがある。趣味は、ずばり“メディア”。

ホームページ: <http://www.media.mit.edu/ichiya/jpn.htm>

(C)Hajime Anzai

▶ [中村伊知哉@LANTIC【連載リスト】 \(http://www.upsidejapan.com/upside/column...\)](http://www.upsidejapan.com/upside/column...)

(中村伊知哉)

！ ASCII24 ！ ASCII24 Business Center ！ 日刊アスキー Linux ！ アスキーデジタル用語辞典 ！
！ auto-ASCII24 ！ Shes.net ！ ASCII Job Serve. ！ アスキートップ ！

！ [個人情報の取扱について](#) ！ [編集部へのコンタクト\(info@upsidejapan.com\)](mailto:info@upsidejapan.com) ！ [広告掲載のご案内](#) ！

Copyright (C)1993-2000 Upside Media Inc.
Copyright (C)2000 ASCII Corporation.
All rights reserved.